



令和6年度の取組内容

晴れの国CNF連絡会 総会

■開催日時 令和6年7月10日（水）

■実施方式 現地開催

○基調講演

『セルロース／樹脂複合材料の開発 ～ナノの可能性・ミクロの実用性～』

講師：静岡大学 グローバル共創科学部
准教授 青木憲治 氏



晴れの国CNF連絡会 勉強会

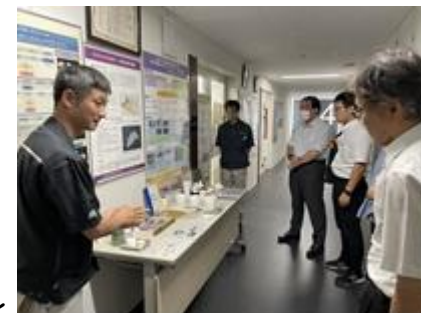
【第1回】

■京都市産業技術研究所 施設見学

○京都市産業技術研究所の概要及びCNF実装化に向けた取組について（ガイダンス）

○施設見学

○意見交換・技術相談



【第2回】

■合同会社エフプロとの情報交換

○LCAの観点を用いたセルロース材料の評価事例の紹介

講師：合同会社エフプロ
代表 淵上智子 氏

○質疑応答・情報交換・個別相談



【第3回】

■星光PMC株式会社との情報交換

○セルロース配合樹脂「STARCEL®」の紹介

講師：星光PMC株式会社 アドバンストマテリアルズ部
複合材料担当長 黒木大輔 氏

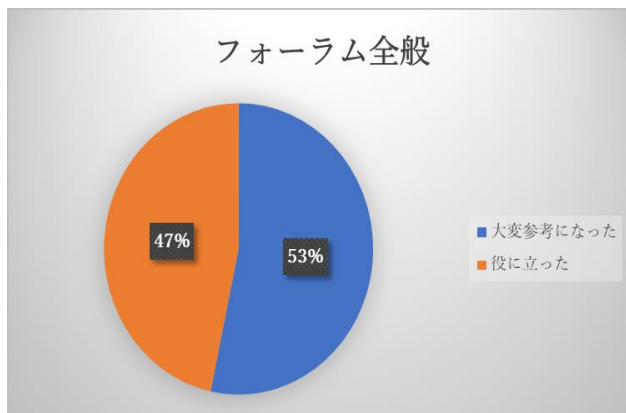
○質疑応答・情報交換・個別相談



CNF実用化フォーラムの開催

CNF実用化フォーラム2024 in OTEX

- 開催日時 令和6年11月14日（木）13:00～16:30
- 配信会場 コンベックス岡山
- 実施方式 現地開催のみ
- 共催 岡山県・中国経済産業局
（公財）岡山県産業振興財団
- 後援 ナノセルロースジャパン
（国研）産業技術総合研究所中国センター
地域連携協定締結7団体
- 参加者 66人



基調講演

『ナノ・マイクロセルロース繊維の補強によるプラスチック素材の低炭素化』

地方独立行政法人京都市産業技術研究所
産業技術支援センター

材料・素材技術グループ長 仙波 健 氏
研究主幹（プラスチック）



コストパフォーマンスに優れ、大量に使用されているプラスチックをCNFなどのセルロース系素材により高性能化することは、低炭素社会の実現に重要です。本講演では、PP、PE、塩ビなどの汎用プラスチック、ポリアミドなどのエンジニアリングプラスチックについて、セルロース繊維による補強に関するこれまでの取組と最近の成果を報告します。

実用化事例発表

14:35～15:00 トヨタ紡織株式会社
材料技術開発部 プリンパ®ルキスパ® 鬼頭 雅征 氏
『CN/CEへの貢献を目指したトヨタ紡織の植物由来材料開発 ～過去そして未来～』



*CN：カーボンニュートラル/CE：サーキュラーエコノミー
トヨタ紡織はサステナブルな社会の実現を目指し、2000年初頭に植物材料としてケナフ繊維を用いたドアトリムを世界に先駆け量産車に搭載しました。これまでに車両搭載してきた植物材料や当社が保有するナノレベルの構造制御技術を振り返るとともに、現在、開発を進めているCNF強化樹脂の開発状況についても概要をご紹介します。

15:05～15:30 株式会社吉川国工業所
環境配慮型素材開発事業課 課長 嶋田 勤 氏
『LCA評価されたCNF複合樹脂による日用家庭用品への事業展開（環境配慮型素材開発の取組）』



持続的再生可能資源で植物由来であるセルロースナノファイバー（CNF）やセルロースミクロファイバー（CMF）を、汎用樹脂やバイオプラスチックに当社内で独自配合した複合樹脂で成形したライフサイクルアセスメント（LCA）評価された製品を紹介するとともに、各種再生材料と複合させる技術をご紹介します。

15:35～16:00 SOLIZE株式会社
後藤 文男 氏
『セルロースナノファイバー実用化に向けた3Dプリント用材料開発の取組』



近年、SDGsやカーボンニュートラルの観点から、3Dプリント工法を用いてものづくりを行う機会が増えています。この工法での量産への取組と機械的特性の向上に向けてセルロースナノファイバーを樹脂材料に複合することで物性とリサイクル性向上に向けた取組をご紹介します。